どんぐりの森通信　第21号　2011年12月

『平岡どんぐりの森』は、身近な地域の自然に親しむ活動をしているグループです。平岡公園や東部緑地をフィールドにした自然観察会や生きもの調査・保護活動を通じて、地域の自然を知り、大切に見守る目を増やしていきたいと思っています。

3月の大震災と原発事故によって、私たちも日常生活の見直しを迫られ、さまざまな意味で模索が続いている日々ですが、今年も1年をふりかえる季節になりました。この1年の活動の締めくくりとして、活動報告をまとめた『どんぐりの森通信　第21号』をお届けします。

❖❖ 2011年5月 ～ 11月の活動報告 ❖❖

ながぐつの土曜日

毎月第2土曜日の午前中、平岡公園で小学生の親子を中心にした自然観察会を開催しています。園内の遊歩道や湿地・池の周辺を歩きながら、草花や樹木、鳥や虫などの生きものをウオッチング。一緒に歩いてくれる学生さん達は昆虫や動物の研究をしている方が多いので、時には、たまたま見つけた蝶やクモの生態について話が弾み、なかなか先に進めないことも。

平岡公園で有名なのは梅林ですが、雑木林や水辺でもなかなか面白いものが見つかります。大人だけの参加も大歓迎ですので、一度のぞいて見て下さい。

5月14日（土）　若葉の森たんけんたい

梅の開花と重なって園内は人でいっぱい。ながぐつの土曜日にも 50名以上の参加者が集まりました。入り口の梅の香橋からは**ハウチワカエデ**や**イタヤカエデ**の花が目の高さで見えます。桜や梅とは違って目立たない花ですが、よく見るとなかなかきれい。この時期、樹木の花は見頃です。林床の植物の開花は遅めで、**ナニワズ**や**ヒメイチゲ**もまだ蕾でした。

湿地では先月産卵した**エゾアカガエル**の卵はもうオタマジャクシになって泳ぎまわり、少し遅れて**トノサマガエル**の産卵がピークを迎えています。北海道には外から持ち込まれて増えてきたトノサマガエルの問題、在来種のエゾアカガエルとの関係について、研究者の話に参加者は熱心に耳を傾けていました。

10月8日（土）　秋の森たんけんたい

道に落ちているどんぐりを探しながら秋の森の中へ入りました。そろそろ実が成りはじめる**ミズナラ**、**コナラ**、のどんぐりは、今年は不作のようです。お腹をすかせて街に姿を見せるクマが増えているというのも納得です。小春日和の暖かい日、木道に姿を見せたのは**ニホントカゲ**、**カナヘビ**、それに小さな**シマヘビ**も。人の足音に驚いて固まったところを素早く捕獲し、ケースに入れて観察しました。どれも今年生まれの子どものようです。冬眠前の最後のひなたぼっこでしょうか。観察後そっと放すと、素早く姿を消しました。

平岡公園ツリーウオッチング

5月～11月の第二水曜日には、平岡公園内の樹木を中心にした観察会を続けています。早春の芽吹きから新緑、秋の紅葉、冬はスノーシューで雪の森に入って冬芽の観察と、四季を通じて森歩きを楽しんでいます。案内人は平岡公園の隅々まで知り尽くしている自然観察指導員の佐藤佑一さん（ゆうさん）です。

7月13日(水)　夏の*平岡公園ツリーウオッチング*

オニノヤガラ

初夏の平岡公園、明るい緑の森を歩くと、**オオバボダイジュ**の花の香りが漂ってきます。**イヌエンジュ**の遅い花も開きました。

湿地の木道脇では、**オニヤンマ**の羽化が始まっていました。**キタヨシ**の茎にすがりつくようにして縮こまった体を伸ばし、濡れた羽を徐々に広げて大空に飛び出して行く姿は、いつ見ても感動！です。

背高のっぽの**オニノヤガラ**、日陰にひっそりと顔をのぞかせた**ギンリョウソウ**と**シャクジョウソウ**、葉緑素のない腐生植物が勢ぞろいです。湿地では**モウセンゴケ**の白い花が満開、**エゾミソハギ**は早くも赤紫の蕾を付けていました。

11月8日(水)　秋の*平岡公園ツリーウオッチング*

遅い紅葉がやっとピークを迎えました。平岡公園に多い**コナラ**も黄色から赤褐色までさまざまに色付いています。**コシアブラ**の明るい黄色が木漏れ日に透けて見えました。尾根道に入ると樺の白っぽい幹が目立ちます。園内には**シラカンバ**と**ウダイカンバ**の両方がありますが、さて、その違いは？葉の形状、樹皮の色、枝別れの仕方など、見分け方のポイントをいくつか教えてもらいました。ゆうさんの話では、**ダケカンバ**は園内では見ていないとのことです。湿地の方へ降りて行くと、毎年きれいな青い実をつける**サワフタギ**が、今年はほとんど成っていません。夏頃から虫害か病気かで元気がなかったようですが、来年の復活に期待したいところです。林床の**アクシバ**や**ツルアリドオシ**の実もいつもより少ないように感じました。

平岡公園　夏休みにぎわいフェスタ　8月14日（日）

夏休み恒例の『平岡公園にぎわいフェスタ』、今年の目玉イベントは、酪農大学の学生さんが中心になって企画した「ザリガニ釣り」。東屋に用意した大きな水槽の中から**アメリカザリガニ**を釣りました。北海道にはいないはずの、これらのアメリカザリガニは札幌市内で見つかったもの。在来の**ニホンザリガニ**との違いやその影響について解説を聞く子供たちの目は真剣でした。園内の小川に移動して、タモ網をふるっての魚探しでは**スナヤツメ**、**マドジョウ**、**エゾトミヨ**、**イバラトミヨ**、**エゾホトケ**などを捕え、トンボのヤゴもたくさん見つけました。参加者・スタッフ総勢66名で気持ち良い汗を流した一日でした。

アオサギ観察会　　平岡コロニー　＆　江別コロニー

イオン平岡ショッピングセンター裏の森にアオサギがコロニー（集団営巣地）を作りはじめてから十数年がたちます。毎年3月中旬には南から飛来して営巣を始め、9月に再び南に去るまでの間、百数十のつがいが子育てをするこのコロニーは、石狩地域のアオサギ群にとって重要な役割を担っています。

私達は毎年アオサギの子育て中に、平岡高校屋上をお借りして観察会を開いていますが、今年は「北海道アオサギ研究会」と協力して講演・スライドの会と平岡・江別両コロニーの観察会を開催しました。

5月20日(金)　平岡コロニー観察会

風のない晴れた日で観察には絶好な日和。平岡高校の先生方も参加して下さり、見える範囲で50以上の巣と親鳥、ヒナの姿を確認しました。かなり大きく育ったヒナもいて、孵って1カ月近いと思われました。

6月4日(土)　講演会『アオサギの過去・現在・未来』　と江別コロニー観察会

野幌ふれあい交流館で、松長克利さんの講演とスライドの会を開催。約40名の参加者が北海道のアオサギの現状について興味深い話を聴きました。講演の後、江別コロニーに移動してアオサギを観察しました。詳細は**北海道アオサギ研究会**のホームページ http://www.greyheron.org/activity/11-06-04-2/　をご覧下さい。

＊＊＊＊＊＊　今年の活動日誌から　＊＊＊＊＊

● 平岡公園　チョウと虫の観察会

8 月 6 日（土）

コムラサキ

清田区寺子屋ボランティア講師の問田高宏さんと一緒にチョウと虫の観察会を行いました。網でチョウを捕まえて、見分け方や生態など詳しく解説していただきました。

上流湿地のヤナギの周囲に、たくさん飛んでいる**コムラサキ**を見つけました。ヤナギの木で羽化する♀を求めて♂が集まって来るのだそうです。国蝶の**オオムラサキ**よりも小さ目ですが、紫色の模様が美しくて、感動しました。

この日に確認したチョウは、**クロヒカゲ、ジャノメチョウ、フタスジチョウ、ウラギンヒョウモン、スジグロシロチョウ、モンシロチョウ、オオモンシロチョウ、キアゲハ、コムラサキ**。他に**オニヤンマ、オオルリボシヤンマ、オオカワトンボ、ノコギリカミキリ、ヒラタカゲロウ**など。

9 月 11 日（日）

北海道自然協議会主催の観察会に合流して行いました。今回も問田氏に講師をお願いして、初秋のチョウを探しました。森の林床にはタマゴダケやテングダケなどキノコ類が多く見られ、人工湿地にはエゾノヒツジグサが咲き始めていました。確認したチョウと虫:**モンキチョウ、ミドリシジミ、アイノミドリシジミ、ミドリヒョウモン、ジャノメチョウ、ベニスズメ**の幼虫、**ガガンボ**。

● ホタル観察会　（平岡公園上流湿地）

平岡公園管理事務所の協力をいただいて 7 月 29 日と 8 月 5 日に開催しました。薄暗くなり始める 19 時 20 分頃からスタート。今年は湿地の入り口付近から、ぽっ！ぽっ！あちこちでホタルの光が飛び交い、みんなの歓声があがりました。木道を 2 周しましたが、広範囲でホタルを見ることができました。このホタルが生息できる大切な自然がいつまでも守れますように！

● 上野幌西公園で植樹生育調査

高速の南インター近くの上野幌西公園では、公園造成時のH14 年 9 月とH15 年 6 月に、上野幌西小学校の 4 年生が混播法による植樹をしています。10 年近く経過したので今年 5 月に生育調査を実施しました。ところが、H14 年に植樹した樹木は残念ながら確認できませんでした。後日、公園を管理している厚別土木センターの方と現地で確認しましたが、公園の雑草を刈る時に誤って、植樹した苗木も一緒に除去したのではないかと思われます。たいへん残念なことです。今後は、植樹時に「文書で」植樹場所や範囲、数を確認し、次期担当者に確実に引き継いでもらうように要望しました。

H15 年の苗木は順調に生育しています。**コナラ**（18 本）、**ミズナラ**（5 本）、**クリ**（5 本）は 5m～6m　**ハルニレ**（4 本）2m～4mと大きく成長していました。**ミヤマガマズミ** 2 本、**アオダモ** 1 本、**ホオノキ** 1 本を確認。それぞれのサークルに 5 本～7 本の樹木を確認することができました。

● 釧路の森再生事業を応援

環境省の自然再生事業のひとつとして、釧路湿原の周りの森の再生プロジェクトが始まっています。釧路で採取したタネを苗に育てて、ある程度成長してから湿原周辺の山に植えて森の再生を促す計画ですが、釧路では気候の関係で苗の生育が遅いので、札幌近郊で育てています。私達はこの苗を 1 年間ほど預かって成長を見守る「里親」を引き受けることになりました。11月 4 日に、この事業に協力している雪印種苗の苗畑を見学し、ダケカンバとアオダモの苗箱を計 18 個預かってきました。昨年秋に採取したタネを今年 5 月に播いたものだそうです。来年秋までの 1 年間、会員の庭に置くことになりますが、成長が楽しみです。

●**モニ 1000　鳥の調査**　越冬期（2010 年から 11 年）12/15、12/24、1/12　繁殖期　6/8、6/20、6/30

●**モニ 1000　カエル調査**（産卵期間）3/30　4/16　4/26　5/14

エゾアカガエルは産卵期に産卵可能なメス1匹あたり、1つの卵塊を産卵します。卵塊の数を数えることで、その地域に生息するカエルの個体数を把握できます。平岡公園湿地エリア5カ所でエゾアカガエルの卵塊数を調査、合計卵塊 129 個を確認しました。

『外来種』の話

酪農学園大学大学院　酪農学研究科
野生動物保護管理学研究室
更科　美帆

皆さんは“外来種（がいらいしゅ）”をご存知でしょうか。外来種とは文字通り「外から来た種（しゅ）・生物」のことで、もともとはその地域にいなかったのに人の手によって持ち込まれ、逃げ出したり放されたりしたものが野外に定着してしまった生き物のことをいいます。外来種とは反対にその地域にもともといる生き物のことを“在来種（ざいらいしゅ）”といいます。

日本には外国から導入されたものだけを数えても 2,200 種以上もの外来種が定着しています。それら外来種は、似たような生活史を送る在来種の餌や住みかを奪ったり、襲って食べてしまったりすることで生態系を狂わせるため、日本のみならず世界各国で問題となっています。

アメリカザリガニはその名の通りアメリカ原産のザリガニですが、飼育が容易であることから小学校の授業で使われたりしています。夏休みになるとザリガニを家に持って帰った記憶のある方もいるでしょう。よく夜店やペットショップなどでも売られていますが、ミシシッピアカミミガメ（ミドリガメ）もアメリカ原産の生き物です。この 2 種類の生き物は、日本国内にもともとは生息していませんでした。しかし、この左の写真のアメリカザリガニは札幌市内の河川で、右の大きなミシシッピアカミミガメは平岡公園で捕まえられたものです。アメリカザリガニは、小さな赤ちゃんザリガニも確認されたことから、自然下で繁殖を繰り返していることがわかりました。

お店で買ってきた生き物を「飼いきれなくなって野外に放した」という記憶のある方はいませんか？それが、外来種が存在する大きな理由の一つです。「動物にとっても自然に帰してあげた方がいい」というのは正しくはありません。安全な室内でずっと餌をもらって暮らしてきたのにいきなり危険がいっぱいの野外に放り出されるなんて、動物だってたまったもんじゃありません。また、どこかで捕まえて持って帰ってきた生き物を自分の家の近くで放すという行為も、良いことではありません。その生き物があなたの地域にもともといない生き物であれば、今度はその生き物が外来種になってしまいますし、その生き物がすでに外来種であった場合には、生息分布域の拡大に手を貸す要因となってしまいます。捕まえてもその場で放してあげるのが一番良いのですが、もし捕まえた生き物を飼い始めて、どうしても飼いきれなくなった場合には家の近くで適当に放すのではなく、少なくともその生き物を捕まえた場所で放すようにしましょう。

本州では、アメリカザリガニが「田んぼで見られる当たり前の生き物」になっています。同じように「北海道の水田と言えばトノサマガエル（どんぐりの森通信第16,18号参照）」とか「ザリガニといえばアメリカザリガニ」となってしまわないように、飼い始めた生き物は途中で放り出さず、最後まで面倒を見てあげることが大切だと言えます。

発行　平岡どんぐりの森　（代表　荒井美和子）
〒004-0033　札幌市厚別区上野幌３条５丁目12－8
tel. fax　011－896－0058
ホームページ　http://dongurinomori.web.fc2.com/